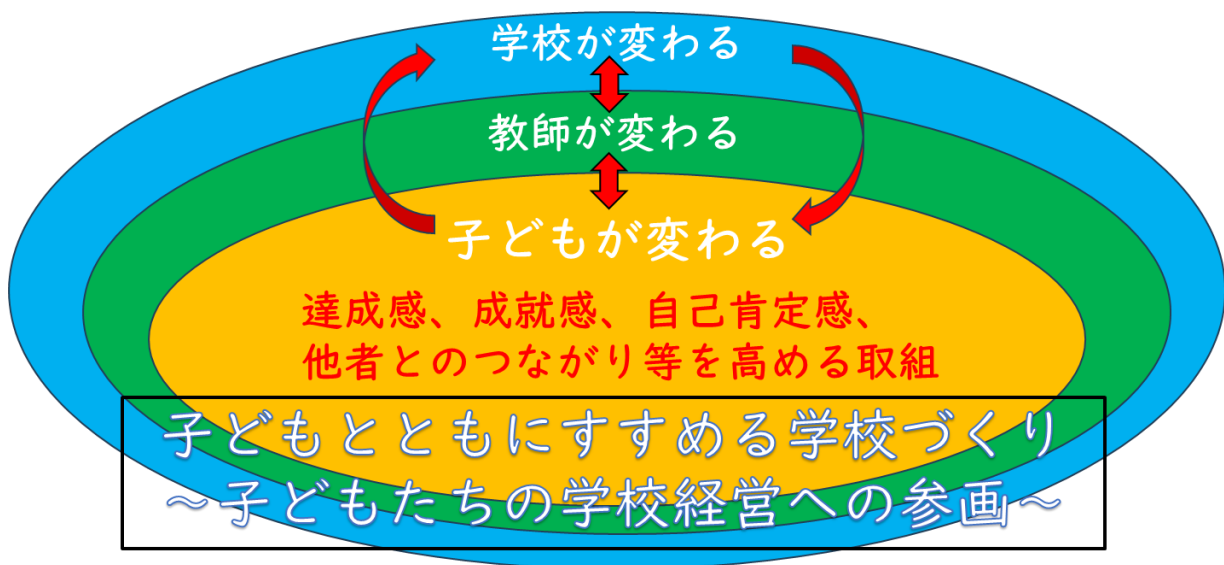


子どもの意見を反映させた教育活動の推進について

区立の各小・中学校では、これまでも学級活動や生徒会活動、学校行事等において、児童・生徒の意見や考え、思いを安心して表明できる場をより増やすための取組を行っている。その取組をさらに充実させていくため、今後の方向性についてまとめたので、以下のとおり報告する。

1 本事業の目的

学校は、さらに子どもたちの意見を生かして特色ある教育活動を充実させることで、これまで以上に子どもたちの達成感、成就感、自己肯定感、他者とのつながり等を高めることができる学校づくりを進めることができる。



2 子どもの意見を反映させた教育活動の取組の現状

これまでも、各小・中学校では学級活動や生徒会活動、学校行事等において、児童・生徒の意見や考え、思いを安心して表明できる場をより増やすための取組を行っている。

○教師がテーマ(活動場面)を与えて実施した事例①【学校行事】

- ・運動会において、実行委員が中心となり、人数、用具、対戦形式などの競技内容や競技名を考え、取り組んだ。運動会実施後は、一人1台端末を活用したアンケート調査が実施され、運動会の楽しさや充実感を生徒同士で共有した。

○教師がテーマ(活動場面)を与えて実施した事例②【子どもの権利】

- ・11月20日の「中野区子どもの権利の日」の全校朝会において、代表委員会の児童が、低学年の子も理解できるように、子どもの権利に関するクイズを出した。また、子どもたちの言葉で考え、「学校生活を楽しむ権利を大切にする」ことを全校児童で共有した。

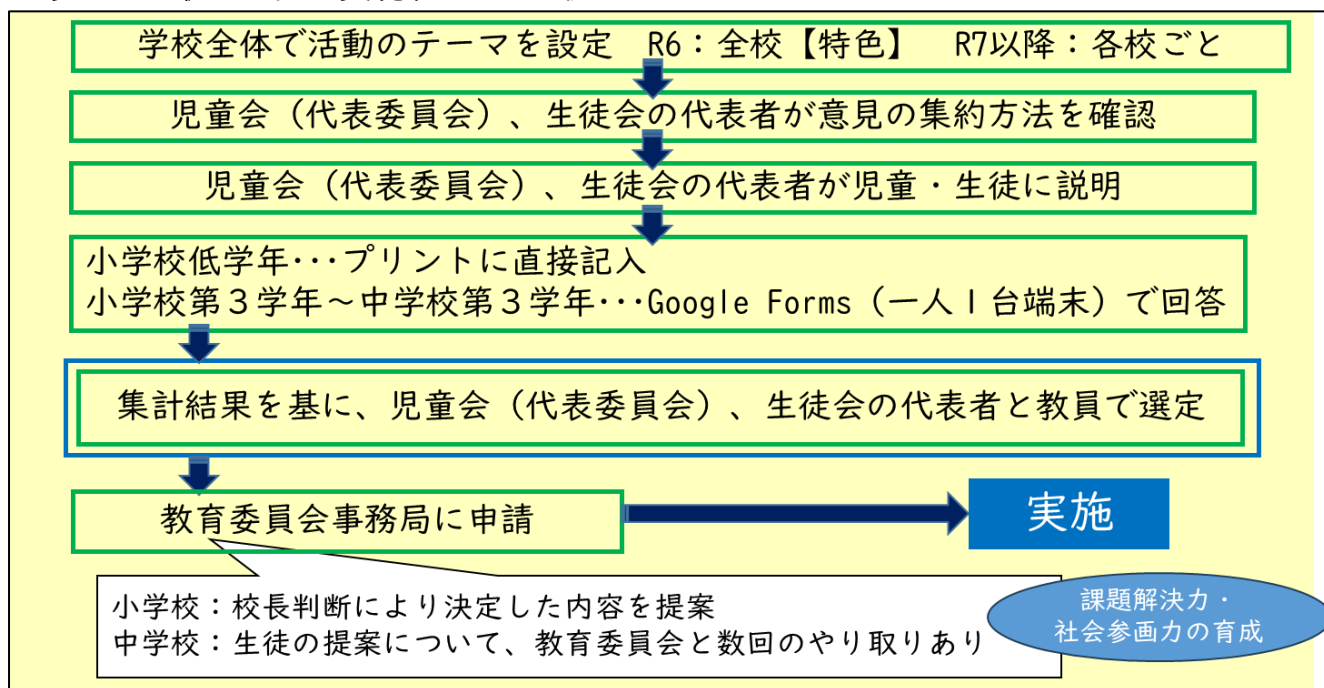
○教師がテーマ(活動場面)を与えて実施した事例③【学校生活】

- ・生活のきまりについて、子どもたちの意見を反映させながら決定した。
例：学習用具(鉛筆の濃さや本数、シャープペンシルの必要性、キャラクターの有無)、学校ルール(校則)

3 今後の方向性について

令和6年度		令和7年度以降
試行実施（制度設計）		本格実施
（仮）すべての子どもたちが楽しいと思える、誇りに思える学校づくり		
自校のよさや特色ある教育活動をよりよいものにしていく	活動場面等も児童・生徒が考える	
前期 （4月～10月前半）	後期 （10月後半～3月）	
●各校の児童・生徒の意見を児童会（代表委員会）や生徒会が中心となって集約し活動を決定。管理職に提案。	実施 → ●後期の児童会や生徒会（2年生中心）で次年度に向けた意見を集約し活動を決定。管理職に提案。 次年度予算に反映 →	●意見が選ばれた子どもたち等が中心となった実行委員が実施。 実施 → ●後期の児童会や生徒会（2年生中心）で次年度に向けた意見を集約し活動を決定。管理職に提案。 次年度予算に反映 →

4 児童・生徒の意見が実現するまでの流れ



5 想定されるテーマ例と子どもたちの意見例

- 子どもたちが主体的に学ぶ。
 - ・教室、校庭、体育館、中庭、プールなどを整備して、よりよい環境で学びたい。
 - ・授業にゲストティーチャーを招いて、専門的に学びたい。
- 誰もが学校に来るのが楽しくなるような学校づくりを行う。
 - ・校庭で遊ぶ用具を増やして、いろいろな学年の子と仲よく遊びたい。
 - ・各教科等で使用している用具を新しくしたい。
 - ・学校に来づらくなっている子の意見を聞いて、一緒に活動したい。
 - ・全校統一したデザインの物をそろえたい。
- 学校以外の方とつながりをもつ。
 - ・地域の方やお年寄りの方に感謝を伝えたい。
 - ・学校のよさなどの動画を作成して他校や海外に発信し、つながりを持ちたい。